

2016/11/12

地域相談支援フォーラム in 東北

「死を身近に感じながら苦悩している患者・家族を支援するために」

「平成27年度の患者相談部会の活動とそこから見えてきた
課題、そして今、これから」

岩手県情報提供・相談支援部会からの報告

岩手医科大学附属病院
青木 慎也

岩手県のがん診療連携拠点病院



- ① 岩手医科大学附属病院
- ② 県立中央病院
- ③ 県立中部病院
- ④ 県立胆沢病院
- ⑤ 県立磐井病院
- ⑥ 県立大船渡病院
- ⑦ 県立釜石病院
- ⑧ 県立宮古病院
- ⑨ 県立久慈病院
- ⑩ 県立二戸病院

岩手県
がん診療連携協議会

情報提供・相
談支援部会

がん登録部会

緩和ケア部会

化学療法部会

情報提供・相談支援部会の設立の経緯

H27. 10. 27

第1回目の情報提供・相談支援部会を開催

- ・ 委員選出（各拠点病院より医師1名、MSW1名、看護師1名）
- ・ 部会長選出
- ・ 下部組織として情報提供WG、研修WGを設置

おそらく、全国で一番最後に設置された相談部会

H28. 8. 9

今年度第1回目の部会を開催

- ・ 前任の部会長の転勤により、新部会長選出
- ・ 今年度の活動方針 など決定

主な活動内容

・ 研修WG

がんと仕事の両立支援セミナーに座長、シンポジストとして参加

日時：平成27年11月16日（月） 14：00～16：00 【開場 13：30】

場所：いわて県民情報交流センター アイーナ 8階 804B会議室

対象：企業の経営者・人事・労務担当者・安全衛生担当者・産業医 等

(1) 講演

「がんと仕事の調和に向けて ～会社・医療者・本人ができることを考えよう」

講師：（独法）国立がん研究センターがん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援研究部長 高橋 都 氏

(2) パネルディスカッション

【パネリスト】

高橋 都 氏 （（独法）国立がん研究センターがん対策情報センター がんサバイバー
シップ支援研究部長）

河野 通洋 氏 （（株）八木澤商店 代表取締役）

青木 慎也 氏 （岩手医科大学附属病院 医療福祉相談室（がん相談支援センター）室長）

新田 真紀 氏 （NPO法人 いわてパノラマ福祉館 就労支援員）

28年度研修会は現在、企画中

・ 情報提供WG

いわてのがん療養サポートブック作成（各医療機関に配布）



《掲載内容》

はじめに

がんや治療について相談したい

がんについて知りたい

重要な面談にのぞむとき

医療費の負担を減らしたい

自宅で療養を続けたい

患者や家族同士で体験や気持ちを話し合いたい

痛みやつらさを和らげたい

治療を受けながら働きたい

相談支援センターのPR

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016さんりくかまいし (H28.9.3, 4)



「明日への扉」ラジオ放送

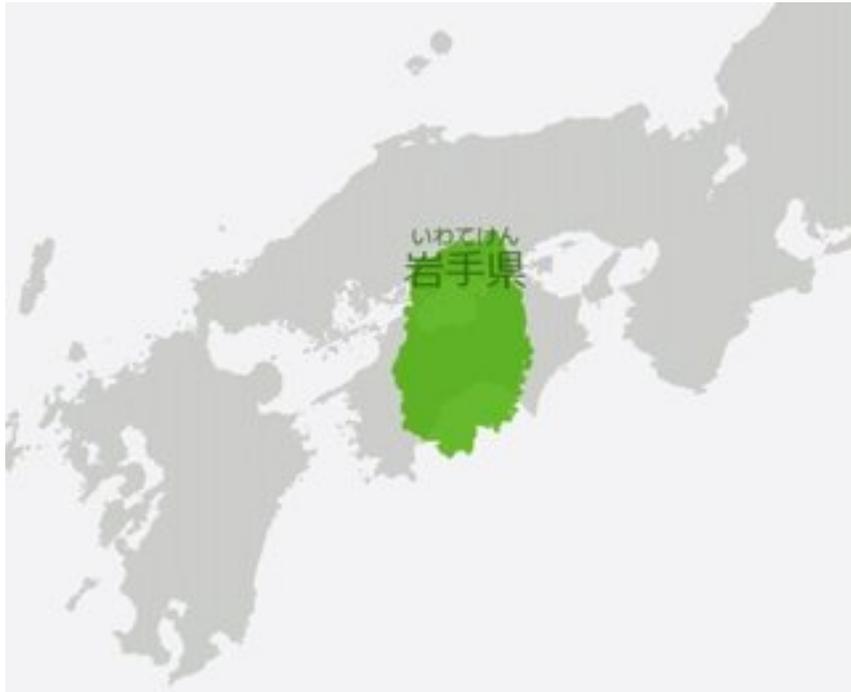
(H28.10.31~H28.11.25

| B C 岩手放送にて放送中)

課題

- ・ 部会設置が遅かったため、活動内容がまだまだ不十分である。
- ・ 各委員が部会活動に十分に時間を割けない。
拠点病院がすべて総合病院であり、相談員の数も限られている。
がん以外の業務も抱えている相談員も多い。

- 拠点病院間の距離が遠いため、直接集まる機会を作りづらい。
(メール等でのやりとりになってしまう)



四国4県と同じ大きさ

これから

- 部会設置が遅かったことで、全国の様々な好事例を参考に取り組むことができる。
- 好事例のなかから、岩手らしさを織り交ぜながら、岩手で生活をするがん患者、家族のため少しでも力になれる取り組みを進めていきたい。
- 岩手県内にはがんセンターはないが、県拠点病院の当院以外は全て県立病院であり、連携を図りやすいため、その強みを最大限に生かしていきたい。
- スタートダッシュは遅いが、走り始めると一生懸命走る県民性を生かしていきたい。